

今月の相談

相談事項	日 時	場 所 な ど
無料法律相談	19日(日)(先着10名)	市役所 ※17日までに公聴広報係 (☎ 24-2111 内線 218 番)へ予約。
定例行政相談	14日(火) 13時～16時	市役所市民相談室
定例人権相談	17日(金) 13時～16時	市役所市民相談室
常設人権相談	毎週水曜日 10時～15時	旭川地方法務局紋別支局 (☎ 23-2521 番)
社会保険事務相談	23日(木) 13時～17時 24日(金) 9時～15時	市民会館 (北見社会保険事務所☎ 0157-33-6008 番)
労働相談	6日(月) 13時～17時15分 7日(火) 8時30分～12時15分 20日(月) 13時～17時15分 21日(火) 8時30分～12時15分	紋別市港湾合同庁舎 (名寄労働基準監督署☎ 01654-2-3186 番)

知っていますか『紋別の農業』

●農業の現状●

当市の農業は、戦後、畑作経営を主体に発展してきましたが、冷涼な気象条件から冷害等の被害を免れることができず、その後、畑作から酪農経営へと転換が進められ、現在は酪農及び肉用牛経営を中核とした農業が形成されているとともに、漁業及び林業と並んで市の基幹産業となっています。

恵まれた土地資源や気象条件は酪農及び肉用牛経営に適した自然環境で、特に酪農が大部分を占め、乳牛の飼養頭数は12,700頭(市の人口の約半分)、年間の生乳生産量は59,000トンと網走管内一を誇り、有数の生乳生産の基地となっています。

また、肉用牛の飼養頭数は乳用種雄肥育牛を中心に10,600頭が飼養されています。

畑作物については、牧草やデントコーンなどの飼料作物の栽培を主体に、てん菜やかぼちゃ、馬鈴しょなども栽培されており、一部の高齢者仲間が、生涯現役や地産地消を目的に、自家生産野菜の直接販売にも取り組んでいます。

近年、国際化の進展や原油・肥料・飼料価格の高騰により生産コストが増大するなど、農業経営を取り巻く環境は極めて厳しい状況ですが、当市の農業者は、消費者へ食料を供給する使命と地域経済への維持発展にも寄与しているという自負の下、安全・安心な農畜産物を日々生産しています。



私たちのクラブ活動紹介

PLMBAバトントワリング紋別教室



当教室は全国にメンバーを持つ日本最大のバトン団体で、紋別はその中の北海道第5ブロックに属しています。バトンの技術向上を目指すとともに芸術的センスを磨き集団の中における協調性と表現力を身につけていくことを目的としています。

週に一度、北見から指導員が来て、紋別小学校の体育館で楽しくレッスンをしています。ダンスも上手になります。3才以上、男女問わず、メンバーを募集しています。体験もできますので、お世話係まで連絡ください。

お世話係 上野 ☎ 23-5174 番

広報もんべつ 2008.10 第651号

■発行：紋別市長 宮川 良一

■編集：総務部企画調整課公聴広報係

〒094-8707 紋別市幸町2丁目1番18号

☎ 0158-24-2111 内線 218番

FAX 0158-24-6925番

■市長へのEメール：shichou@city.mombetsu.lg.jp

■市長へのFAX：0158-24-6411 番

■平成20年10月1日発行

■印刷：横田印刷株式会社

●人のうごき●

平成20年8月末

人口 …………… 25,498人

男 …………… 12,104人

女 …………… 13,394人

世帯 …………… 12,266世帯

誕生おめでとう …………… 11人

お悔やみ申し上げます …………… 17人